



# 第7回目 勤務助産師部会「わいわいカフェ」



カフェで  
待ってます♡



日時: 令和4年1月29日12時～13時/テーマ: 「どうする? どうしている? 産前産後ケア」

## 《プログラム》

1. 開会、オリエンテーション
2. 自己紹介
3. 話題提供(2名)
4. 感想、意見交換、その他
5. 今後の兵庫県助産師の活動紹介

## 《勤務助産師部会活動予定》

- ・2月～録画配信の研修会開始
  - ・次回カフェについて
- (※詳細はホームページをご覧ください。)

## 《様々な場所での様々な産前産後ケアの紹介》

- ・助産所開業の際、段差がないフロアを探した。
- ・毎日の献立は、母の身体に良さそうな内容や母が家で作れそうと思うメニューを考えている。
- ・多職種と助産師が連携しながら、例えば、音楽療法士による歌遊び、助産師によるベビーマッサージ、小児科認定看護師による家庭内で起こりやすい事故や子どもの歯の手入れ、保育士によるふれあい遊び、栄養士による離乳食の増やし方などをお話する「子育て広場」をしている。
- ・大学病院では、胎児疾患や精神疾患合併などのハイリスクを対象にしている。精神疾患合併の場合、治療のために母乳栄養にストップがかかることが多く、その際、母と家族が納得できるような支援が必要になる。
- ・産前産後ケアには、母の身体に焦点をあてた骨盤ケアがある。
- ・産前産後に変化する母の身体へのアプローチは、子育て支援や母自身のセルフケアを見つめ直す機会にも繋がっている。
- ・骨盤ケアでは、理学療法士との連携やコストに関する課題があった。
- ・切迫早産の妊婦が入院しているが、腰痛のケアはしていない現状がある。

## 《感想》

- ・他の助産所の実情を知ることが出来た。
- ・素敵な助産所の中の様子をイメージしながら話を聞いていた。
- ・助産所はアットホームなところがあり、対象者にとって心地良い空間という印象がある。
- ・運営・経営していく上で、費用や収入を考えることは重要な事項の1つである。
- ・産前産後ケアの費用や内容は市や施設によって異なるため、活用する対象者への働きかけが必要である。

